

教育未来創造会議ワーキンググループ 骨子（案）

I. 背景・目的

1. 留学生の受入れ・派遣や教育の国際化を巡る現状
2. これまでの成果と課題
3. 留学生の受入れ・派遣や教育の国際化の意義
 - (1) 外国人留学生の受入れの意義
 - (2) 日本人学生の派遣の意義
 - (3) 教育の国際化の意義

II. コロナ後のグローバル社会を見据えた人への投資の在り方

1. 基本的考え方
2. 今後の方向性（留学の質の向上につながる KPI の在り方を含む）

III. 具体的方策

1. コロナ後の新たな留学生受入れ・派遣方策

- (1) 外国人留学生の受入れ方策
 - ①日本への留学機会の創出
 - ②入学段階での要件・手続きの柔軟化
 - ③国内大学の教育研究環境の質及び魅力の向上
 - ④適切な在籍管理の徹底、技術流出防止対策の強化
- (2) 日本人学生の海外派遣方策
 - ①高校から大学院段階までを通じた日本人学生派遣の推進
 - ②初等中等教育段階における英語教育・国際理解教育の推進
- (3) 国際交流の推進

2. 留学生の卒業後の活躍に向けた環境整備

- (1) 外国人留学生等の高度専門人材の定着率の向上
 - ①留学生の就職促進に向けた取組促進
 - ②企業風土の改善、環境の充実
 - ③関連する在留資格の運用の見直し
- (2) 日本人学生の就職円滑化に向けた環境整備

3. 教育の国際化の推進

- (1) 国内大学等の国際化
- (2) 外国人材の活躍に向けた教育環境整備
- (3) 国内大学の海外分校や高専をはじめとする日本型教育の輸出